

記入例

離婚の際に称していた氏を称する届

(戸籍法77条の2の届)

令和 7 年 5 月 15 日 届出

届出る日を記入

在バルセロナ日本国

大使 殿

総領事

受理 令和 年 月 日
第 号

公館印

(フリガナ)	(現在の氏名、離婚届とともに届け出るときは離婚前の氏名)	
(1) 離婚の際に称していた氏を称する人の氏名	ガイム 氏 外務	ハナコ 名 花子 昭和 55 年 10 月 22 日生
(2) 住所	スペイン国カタルーニャ州バルセロナ県サバデル市ムンタネール通り1番1階1号	
(3) 本籍	(離婚届とともに届け出るときは、離婚前の本籍) 東京都千代田区霞が関2丁目2 番地 番 筆頭者の氏名 外務 太郎	
(4) (フリガナ) 氏	変更前(現在称している氏) 外務	変更後(離婚の際に称していた氏) ガイム 外務
(5) 離婚年月日	令和 7 年 5 月 15 日	
(6) 離婚の際に称していた氏を称した後の本籍	((3)欄の筆頭者が届出人と同一で同籍者がいない場合には記載する必要はありません) 東京都目黒区霞が関1丁目2 番地 番 3 筆頭者の氏名 外務 花子	
(7) その他	離婚後に離婚の際に称していた氏を称する場合は、新しく戸籍を編成する必要がありますので、戸籍を置く本籍地と離婚前の氏名を記入 印または拇印(右手親指)	
(8) 届出人署名(※押印は任意)(変更前の氏名)	外務 花子 印	

(届出人の連絡先及び電話番号 (+34) 600-123-456)